

## アトサヌプリ

- 火山活動評価：静穏な状況  
火山活動は静穏に経過しました。  
平成 18 年は火山情報の発表はありませんでした。

- 概況

- ・火口や噴気の状況（図 1～6）

7 月 20 日に調査観測を実施しました。アトサヌプリ溶岩ドーム周囲に点在する噴気孔群では噴気活動が続いており、噴気温度は 100～120℃前後で、前回（1998 年 10 月）と比べ活動状況に変化はありませんでした。

また、10 月 5 日に北海道開発局の協力を得て実施した上空からの観測では、噴気や地形等の状況に変化はありませんでした。

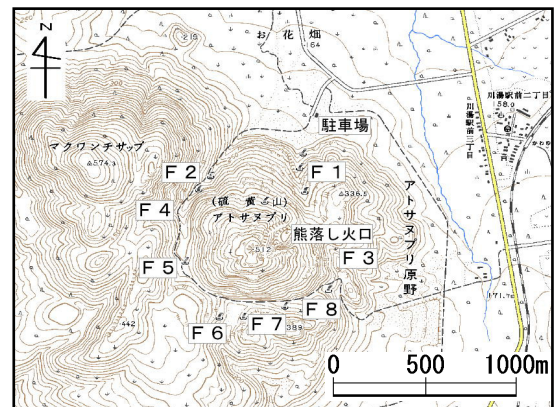


図 1 アトサヌプリ 周辺図  
(F1～F8：噴気温度観測点)



図 2 アトサヌプリ 溶岩ドームの状況  
(2006 年 7 月 20 日：北側駐車場から撮影)



図 3 アトサヌプリ F1 噴気孔群の状況  
(2006 年 7 月 20 日：北東側から撮影)

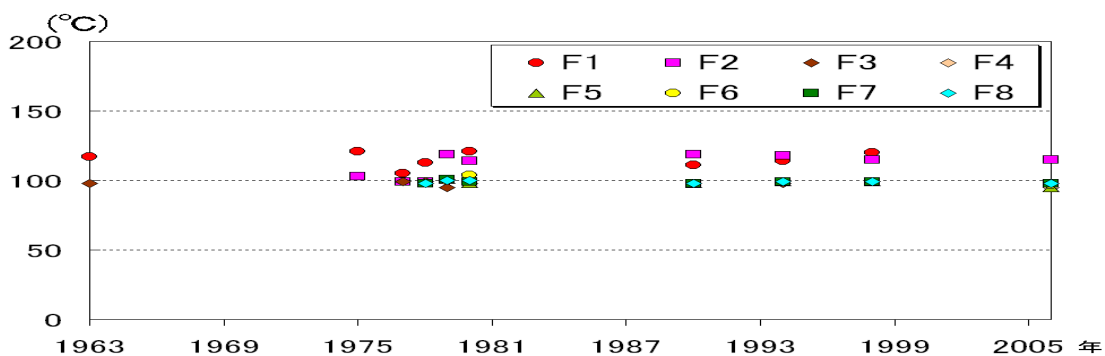


図 4 アトサヌプリ 噴気温度経過図 (1963 年～2006 年)

資料中の地図については、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (地図画像)』を複製しています。  
(承認番号 平 17 総複、第 650 号)

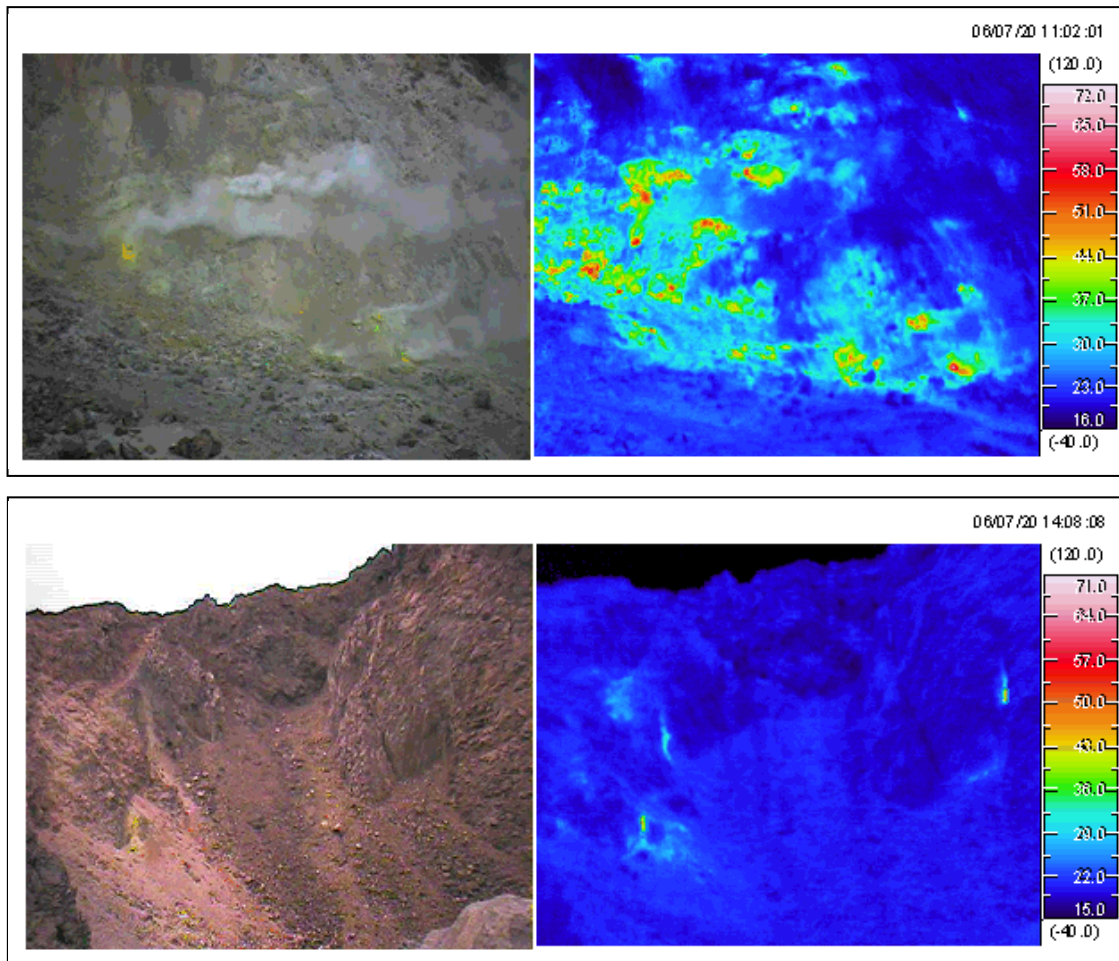


図5 アトサヌプリ 赤外熱映像装置\*による表面温度分布（2006年7月20日撮影）  
 上段：F2噴気孔群 南東側（地形図中①）から撮影  
 下段：熊落し火口 南東側（地形図中②）から撮影

- ・赤外熱映像装置による観測では、噴気孔群や地熱域に対応した高温域が認められましたが、これまでの観測結果と比べ温度分布に大きな変化はありませんでした。

\*赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

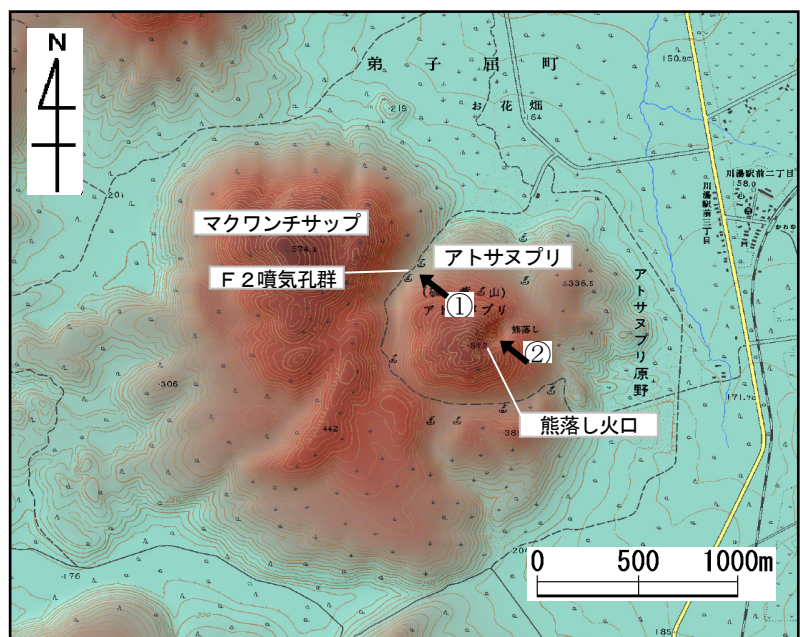


図6 アトサヌプリ アトサヌプリ周辺地形図  
 （丸数字：撮影位置 ↑：撮影方向）